

山行報告書

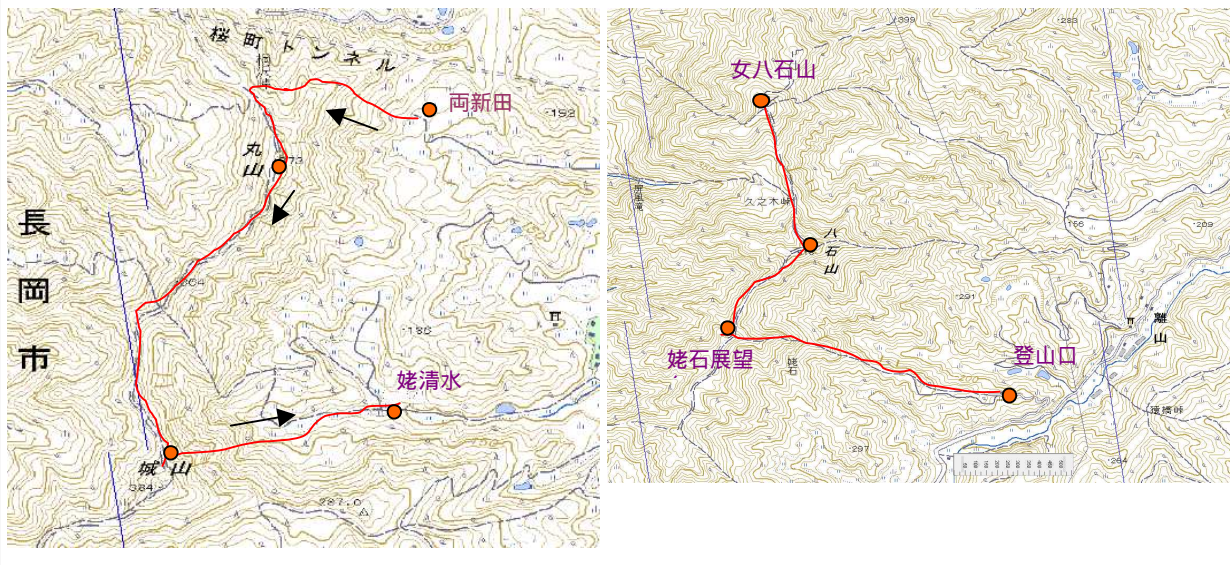
報告書作成

2008年4月20日

山名 [山域]	新潟県小千谷市 城山、八石山	目的と方法	花見山行 ハイキング
登山期間	4月18日～4月19日	山行形態	前夜発 登山口テント泊
参加人数	3人		

行動記録 4・17(金) 梶山自宅19:30===金原PU===宮城宅20:30===豊田東IC===駒ヶ岳SA休憩===みどり湖SA休憩===豊田飯山IC===道の駅「中野市豊田ふるさと交流館」仮眠
 4・18(土) 道の駅(5:00起床6:00発)===R117===西山山系遊歩道両新田口(7:58,8:10)-----桐沢峠(9:30,9:45)----丸山----城山 (時水城址)(10:50,11:20)----姥清水登山口(12:40)-----両新田登山口(13:25,13:45)===金倉山==道の駅「ちぢみの里おぢや」 (15:40,18:25)===八石山登山口P(19:25)T泊
 4・19(日) T S 5:00起床6:00発-----姥石展望台(7:10,7:20)-----男八石山 518m(7:45,7:50)-----久之本峠(8:10)----女八石山(8:30,9:15)-----姥石展望台(10:15,10:20)----八石山登山口(11:05,11:30)===じょんのび 楽寿の湯(12:00,13:00)==昼食そば「まつお」==道の駅「ふるさと交流館」(15:40,15:50)==豊田飯山IC==飯山山本IC==R153==宮城宅(20:00) 片道480KM

概念図



日誌

4月17日は仮眠場所をみどり湖SAとと思っていたが、かなり車が多くひと雨あったのか芝生が濡れていたの、先に進み道の駅「豊田ふるさと交流館」とした。ここは、ICを下りてすぐであり、静かが良い。18日 快晴よく冷えた。両新田登山口はJA育苗センター前の道路脇にP2～3台可能。歩き出しから「イカリ草」が現れ、すぐに「イワカガミ」「キスミレ」と全く歩が進まない。「カタクリ」には少し遅いが全山びっしりで、次は時期を変えてと花好きにはたまらない。丸山から城山へと回り姥清水に下りて、小1時間ほど林道～郷中～農道と歩きPにもどった。姥清水はかなりの水量の水が出ており、水汲みの人が次々やって来ている。このPは広いので、こちらから上がってもよいが、花は時期にもよるだろうが、丸山からの方が良いと思う。その後「金倉山」に寄り「イチゲ」の花を楽しみ、山古志村を通過して道の駅「ちぢみの里おぢや」 ¥900で汗を流し、まだ日が高かったのでゆっくり休憩し、次の八石山登山口Pに向かった。しかし、ここには明るいうちに到着しておいた方が良く、冬季閉鎖の細い道を走り、ステーキハウスのPに駐車。さすが店の前では気が引けるので、少し下がったところに第2駐車場とあったので、そちらにテントを張りゆっくり休んだ。車は我々のみ。19日も快晴、昨日より暖かい。今日の八石山のほうが、多少きついので、足回りをしっかりして、出発。ステーキハウス裏にトイレと水場があるが、トイレは閉鎖。ブナの新緑がもう初夏を思わせるがかなりの急登でついついフィックスロープを掴むほど。姥石展望台で休憩、ここにペットボトルを置き忘れ、帰りに回収。男八石山～女八石山へ。女八石山には休憩舎2棟、トイレ2棟、ベンチなどあり、芝生を貼り「スイセン」を植えてある。八石山を守る会が1棟を管理しているらしく、生活道具一式がそろっており、まるで守る会の別荘のよう。どこに行っても、守る会のすることは結局これか！と考えさせられる。また、急登を上がり下がりしてもどり八石山登山口に着くと山菜採りの人たちが来ていて地元の里山であることを実感する。ここは何本も登山ルートがあり、柏崎市の沢ルートから来た人は「シラネアオイ」や「ニリン草」が咲いていると言っていた。また、ここは「雪椿」の原種がある山ということも、出会った登山者に教えてもらった。刈羽黒姫山の麓の「じょんのび」で汗を流し、蕎麦屋「まつお」に寄り、今回の花の山旅は終わった。最後に寄った蕎麦屋で「カタクリ」の天ぷらを食べ、「カタクリ粉」は知っているが、「カタクリ」の葉や花が食べられることを初めて知った。